

GA360 ご契約社様向け

7/27

Thu

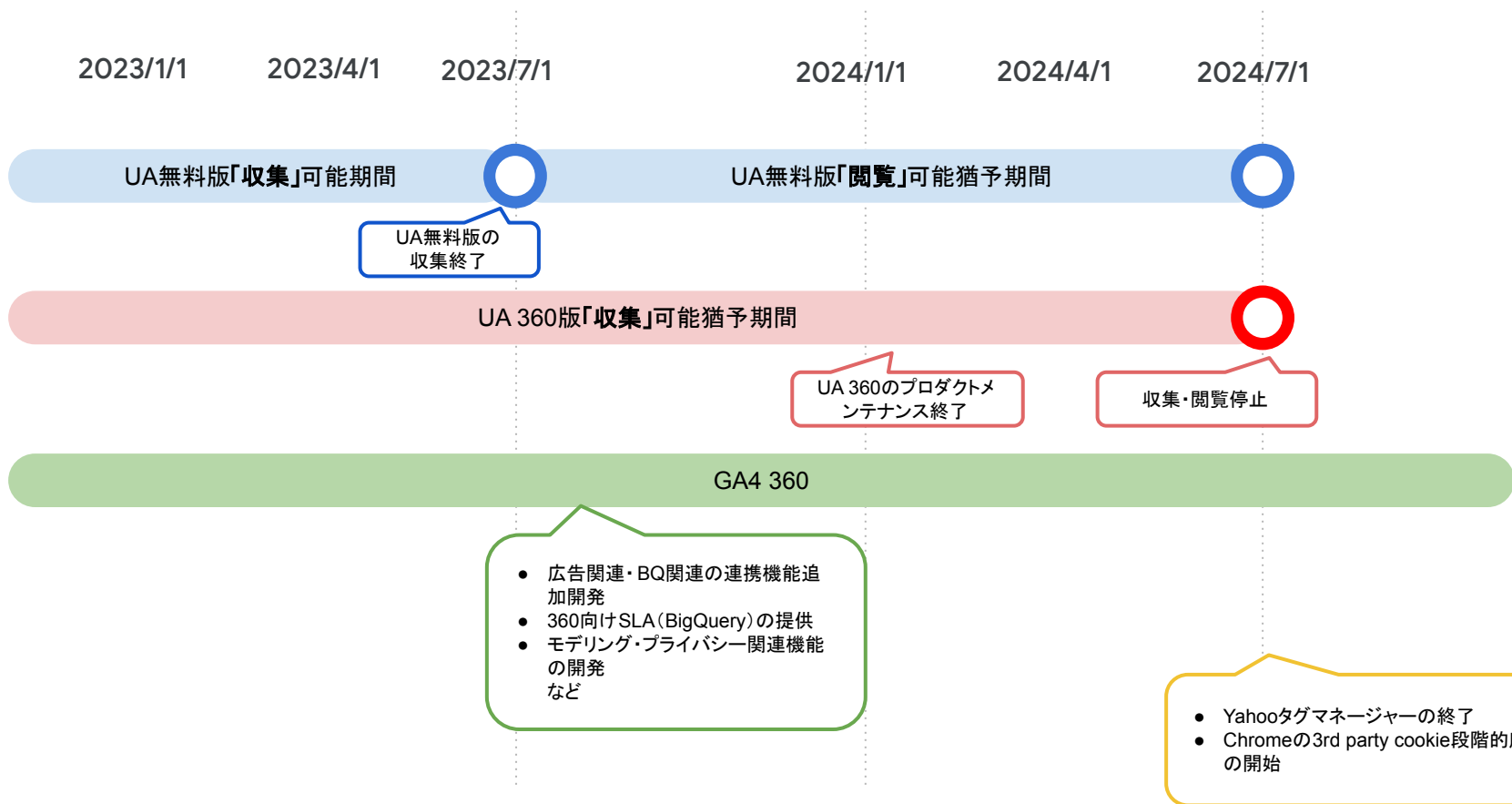
最新情報ウェビナー



GA4最新情報と
プライバシーサンドボックス
SKAdNetworkについて

e-Agency

GA4の今後のロードマップ



GA4周辺のプライバシー関連機能について

プライバシー規制の高まり

世界中の規制機関が新しいプライバシー法の起草を進め、デジタル広告エコシステムを制限している規制枠組みを更新しています。同時に、ブラウザやモバイル OSなどのプラットフォームは、ユーザーデータの取得、共有、測定方法を変えるための新しいポリシーを発表または実装しています。 サードパーティの Cookie やモバイル広告識別子を制限することで、サイトやアプリ全体でユーザーを追跡するメカニズムから移行しつつあります。



プラットフォームのアップデート

制限付き3P Cookie / モバイルID / x-アプリ
ID



規制の変更

GDPR、eプライバシー指令などに起因する同意
バナーとユーザー管理のデータ共有

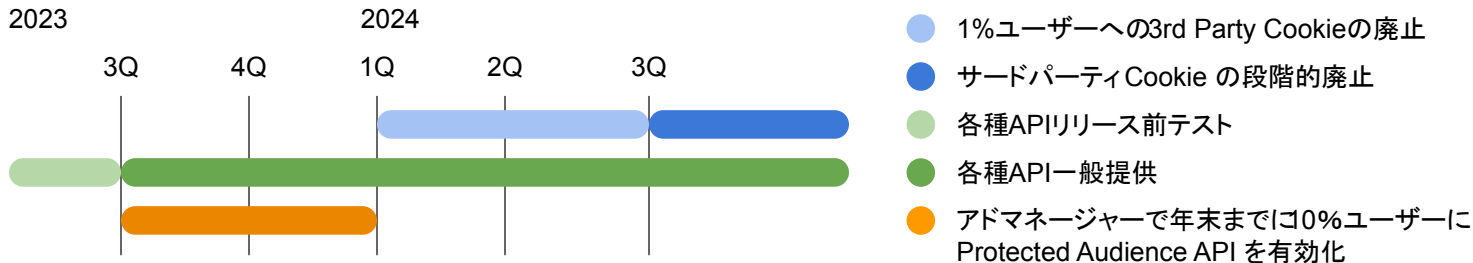
プライバシーサンドボックスのスケジュール

Google社は、2024年に3rd Party Cookieを段階的に廃止することを決定しています。

プライバシーサンドボックスは、ユーザーのプライバシー保護を重視しながら、デジタルビジネスの成功に貢献できるようにCookieなどのトラッキング技術によらない代替手段を、パブリッシャー、開発者、広告主の業界関係者と協力して開発しています。

プライバシーサンドボックスには、広告に関する各種 APIや、フィンガープリントの防止に関する提案など複数の開発が含まれています。

今後のスケジュール

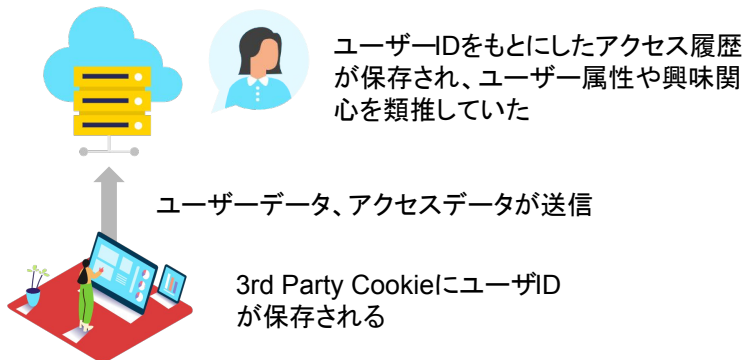


ウェブ向けのプライバシーサンドボックスの概要

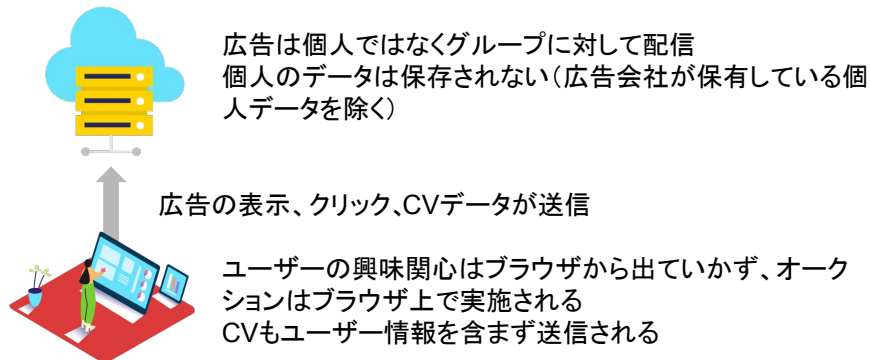
従来は、ユーザーのアクセスデータやそれを元にした属性情報は、広告デベロッパー側に保存され、ユーザー本人にはどのような情報が保管されているかわかりませんでした。

プライバシーサンドボックスでは、ユーザーのブラウザにすべての情報が保存されており、ユーザーが発信情報を制御することができます。そして、広告プラットフォームとはブラウザが APIでターゲティングやコンバージョンについての通信を行い、最適な広告出稿や CVの計測を行います。

現在



プライバシーサンドボックス

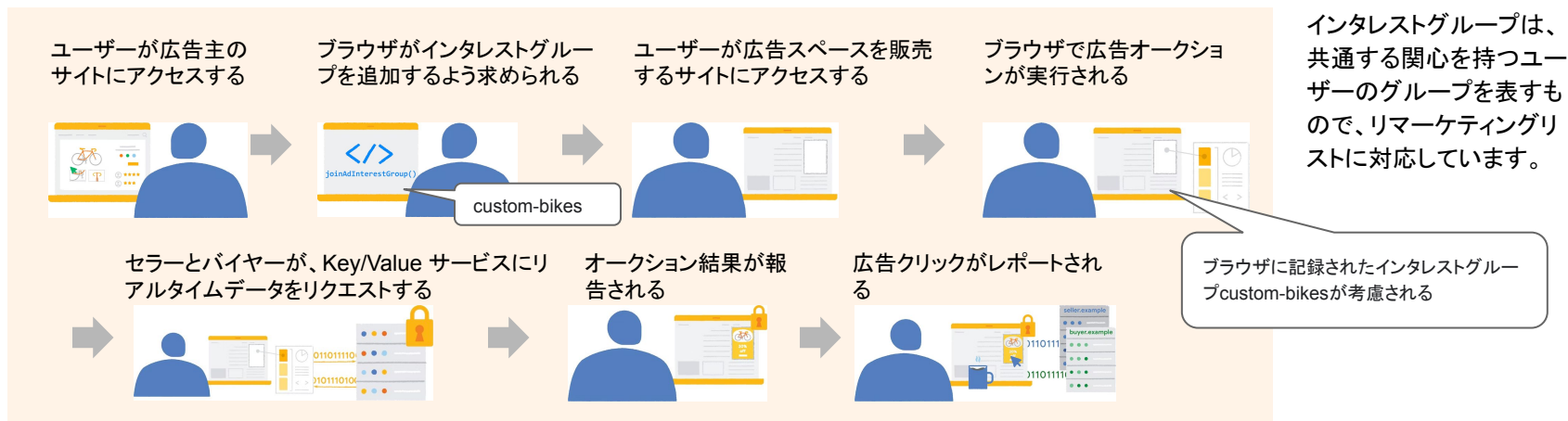


プライバシーサンドボックスの主なAPI

Protected Audience API (IFLEDG) ([URL](#))

Protected Audience APIにより、ブラウザによるデバイス上での広告オークションが可能になります。

また、インタレストグループを使用して、ユーザーが以前にアクセスしたことのある Web サイトから関連する広告を表示できるようにすることで、ユーザーの興味関心をもとに、より関連性の高い広告配信を実現できます。



Topics API ([URL](#))

ブラウザの1週間の閲覧アクティビティに基づき、ユーザーが関心を持っていると推測されるトピック(「カントリー ミュージック」、「メイク、化粧品」など)が選択されます。選ばれるトピックは、その期間にユーザーが最も関心を持っている5つのトピックからランダムに抽出したものです。トピックに含まれる履歴は3週間保持されます。

広告プラットフォームからは、トピックカテゴリディメンションが追加され、ユーザーの関心の高いトピックに広告配信を行なうことができます。

毎週、ユーザーのトップトピックが、ブラウザの閲覧情報を使用して計算され、アクセスから3週間継続される

| Topic ID | Topic Name | Real or Random | Observed-by context domains (hashed) | | |
|----------|--------------|----------------|---|--|---|
| 250 | オンライン コミュニティ | Real | -139691927322285040 5770185902486131714 | 382049360158795791 | 2256184648108168896 |
| 289 | ショッピング | Real | 2256184648108168896 | 5770185902486131714 | |
| 196 | 趣味、レジャー | Real | 2256184648108168896 | 5770185902486131714 | |
| 243 | ニュース | Real | -2998638040540327299 2256184648108168896 | -139691927322285040 5770185902486131714 | 382049360158795791 8875334051804389092 |
| 129 | 家庭用電化製品 | Real | 382049360158795791 | 2256184648108168896 | 5770185902486131714 |

Calculation time: 2023/7/26 10:16:36
Model version: 1
Taxonomy version: 1


- ホスト名に対してトピックが紐づく
- サイト側からトピックカテゴリをプッシュすることは現時点では不可能

Topics APIの初期のカテゴリは350種類あり、今後見直し拡大予定

- [現在のリスト一覧](#)

自分の閲覧履歴で選択されているトピックの確認方法

- ChromeのURLで以下を入力

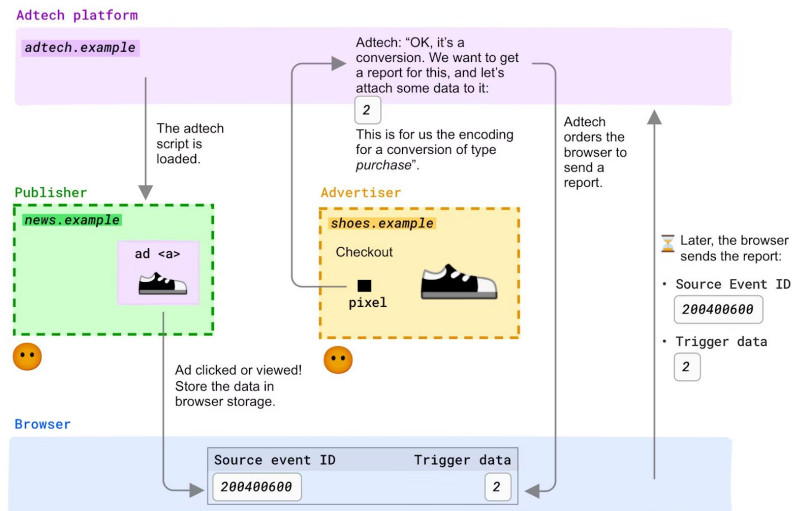
 Chrome | `chrome://topics-internals/`

Attribution Reporting API (URL)

Attribution Reporting API は、広告プラットフォームへ2種類のレポートを送信することができます。

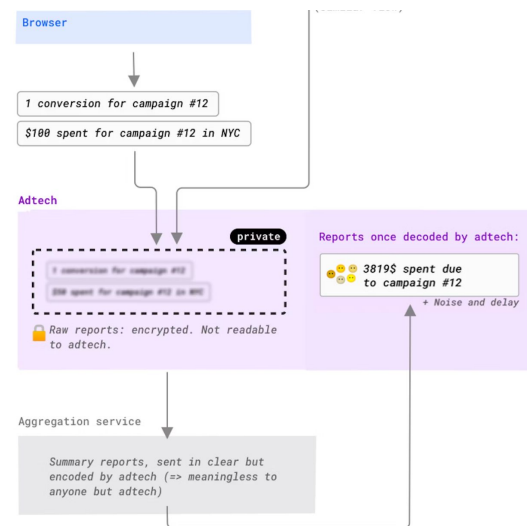
イベントレベルレポート

広告のクリックや表示を大まかなコンバージョンデータに関連付けます。



要約レポート

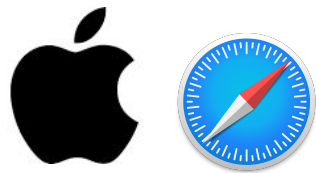
集計サービスを介して、キャンペーンの収益やコンバージョンの集計データ(ノイズを含む)を取得できます。



アプリ向けのSKAdNetworkの概要

SKAdNetworkは、Apple社が提供しているインストール広告の効果測定用のロジックです。ユーザーのプライバシーを保護しながら、広告ネットワークにコンバージョン情報をポストバックすることで流入元別のインストール数を計測する仕組みです。ATT(AppTrackingTransparency)の影響により、注目されるようになってきています。

Appleが提供
(iOS、Safari)



プライバシーを保護しながら
アプリのインストール数を測定



iOS アプリ キャンペーンの
測定がGA4で可能に



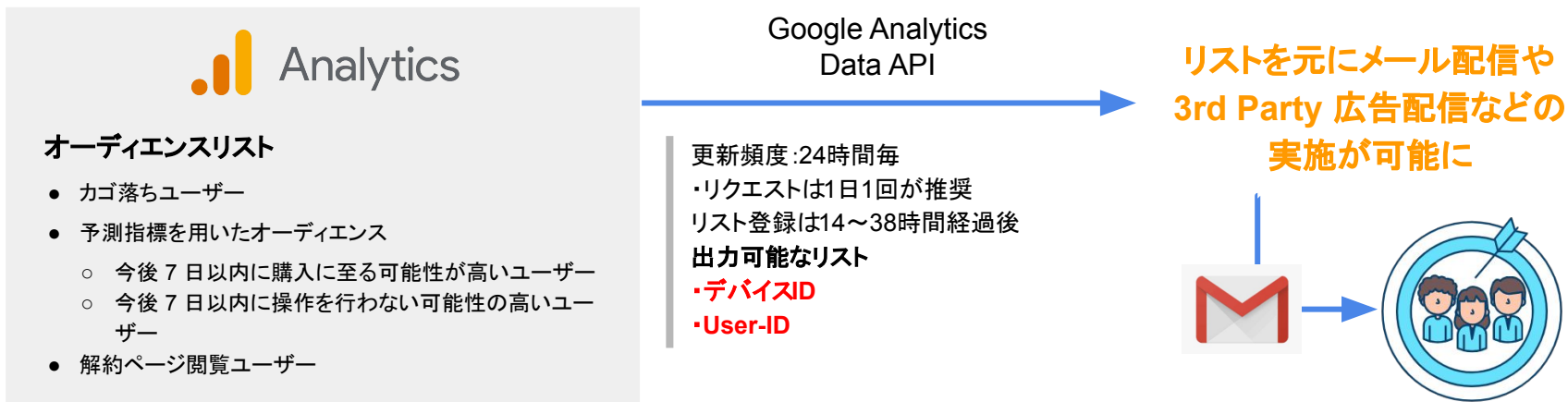
※Firebaseは2022年6月以降の
新しいバージョンの SDKが対象

GA4の最新アップデート機能について

リリース済

Google アナリティクス 4 オーディエンス エクスポート

Google Analytics Data API を使用して、Google Analytics 4 で作成したオーディエンス内のユーザーのユーザーID とデバイス IDをエクスポートできるようになりました。以前は、この情報は Google 広告や Firebase などの直接統合にのみ送信できました。

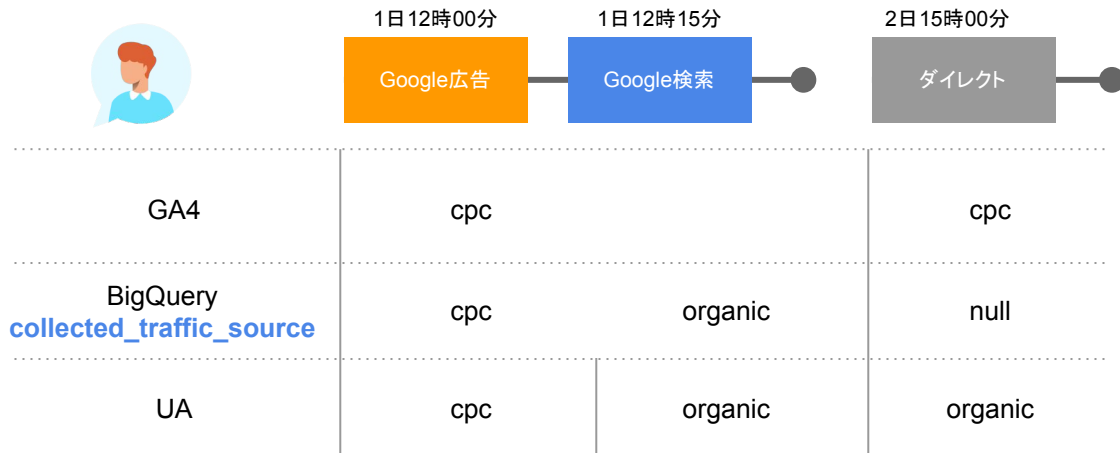


•Developerガイド <https://developers.google.com/analytics/devguides/reporting/data/v1/audience-list-basics?hl=ja>

リリース済

BigQueryの新しいトラフィックスキーマの追加

イベントレベルの参照元情報が含まれる「collected_traffic_source」スキーマが、BigQueryへエクスポートされるようになりました。



特徴

- イベントレベルの参照元が入る
- ダイレクトは「null」で出力
- UTMパラメータの流入は、UTM値が優先
Google広告キャンペーン関連のデータはエクスポートされない

・GAヘルプ <https://support.google.com/analytics/answer/7029846?hl=ja#zippy=%2Ccollected-traffic-source>

GA4とBigQueryを中心とした 1st party データの活用

プライバシー環境の変化に対応していくGA4の計測基盤



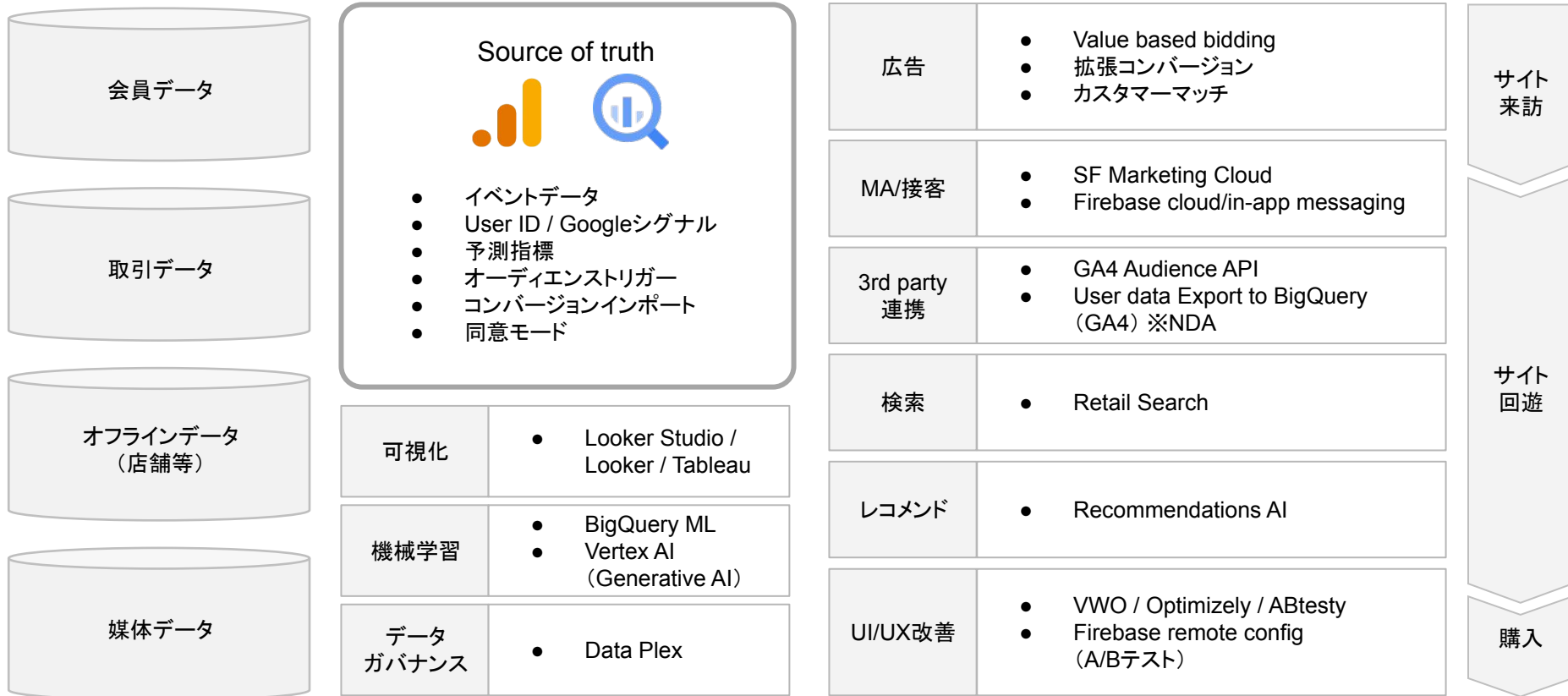
プライバシー環境の変化に対応していくGA4の計測基盤



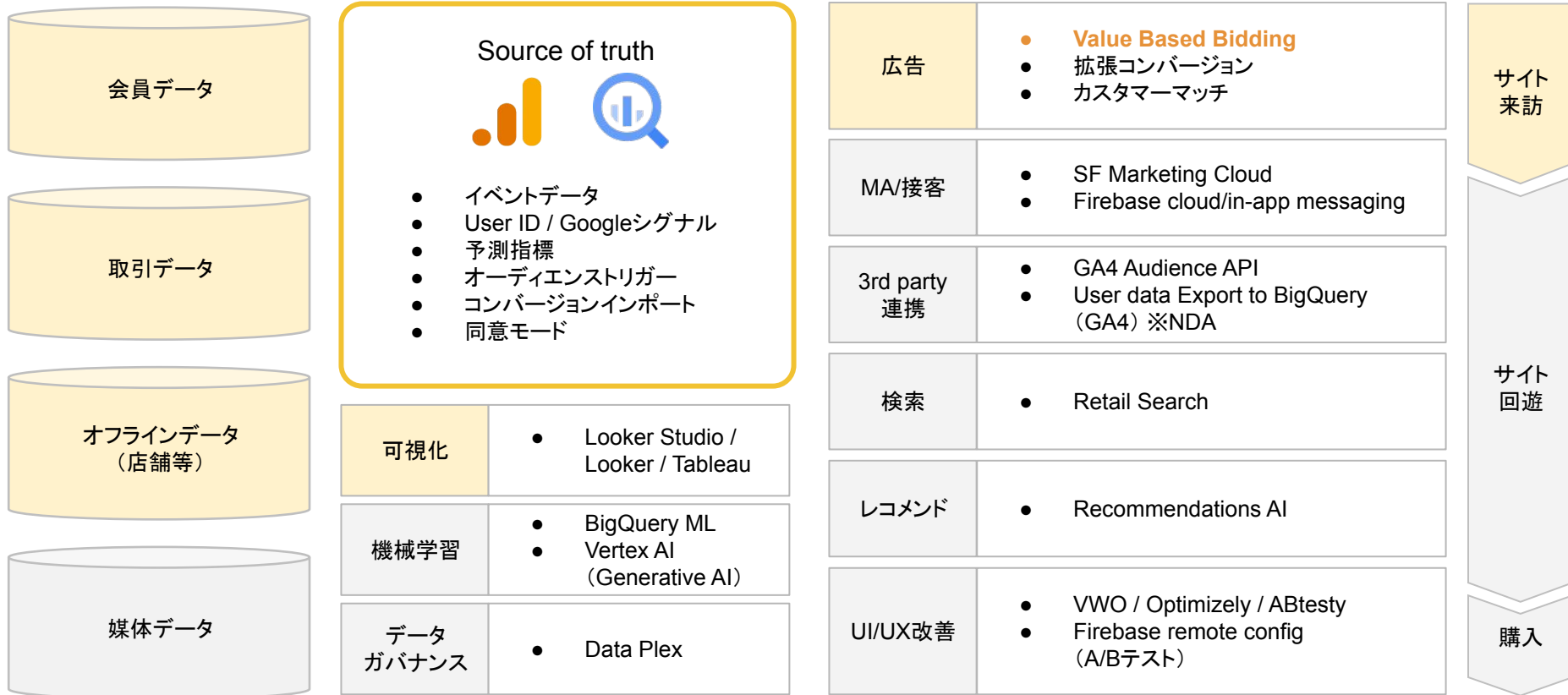
1st party データはWeb・アプリのみならず、
自社のCRMデータや店舗データを統合することでリッチなデータを構築すること可能



GA/BQをSource of truthの起点としたデジタルプロモーションの全体像



GA/BQをSource of truthの起点としたデジタルプロモーションの全体像



Googleアナリティクスの行動データとお客様データを Google Cloud上で統合し、可視化や施策展開に活用

Webサイトの
アクセス解析データ



- ・サイト内行動
- ・流入チャネル
- ・デバイス環境
など

Google Cloudに構築する
統合データ基盤



自社の顧客DB
CRMデータ



- ・顧客データ
- ・在庫データ
- ・店舗データ
- ・広告データ
など



BI



広告



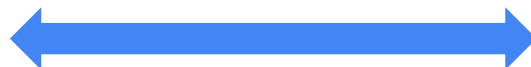
コンテンツ
最適化



MA



CDP

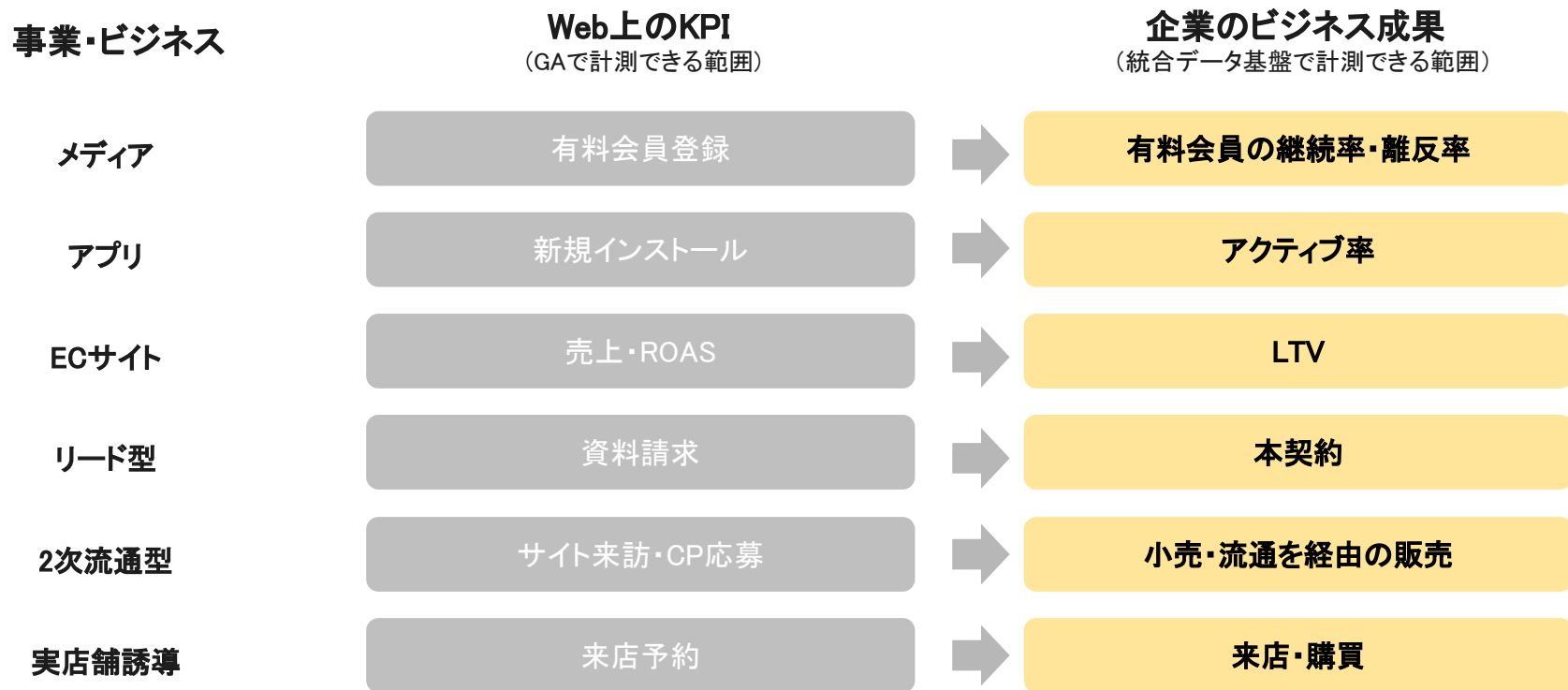


顧客番号など
共通のキーとなる識別子
をもとにデータを統合

| GA client_id | 顧客番号 | 流入経路 | ... |
|--------------|--------|------|-----|
| kfji4i530jg | 439593 | 自然検索 | ... |
| dfjtj4i95fd | 980305 | メルマガ | ... |
| 88d83j3j5i | 959953 | パンフ | ... |

| 顧客番号 | 氏名 | 商品 | 年齢 | ... |
|--------|------|-----|----|-----|
| 439593 | xx太郎 | AAA | 35 | ... |
| 980305 | xx花子 | BBB | 28 | ... |
| 959953 | xx大介 | CCC | 40 | ... |

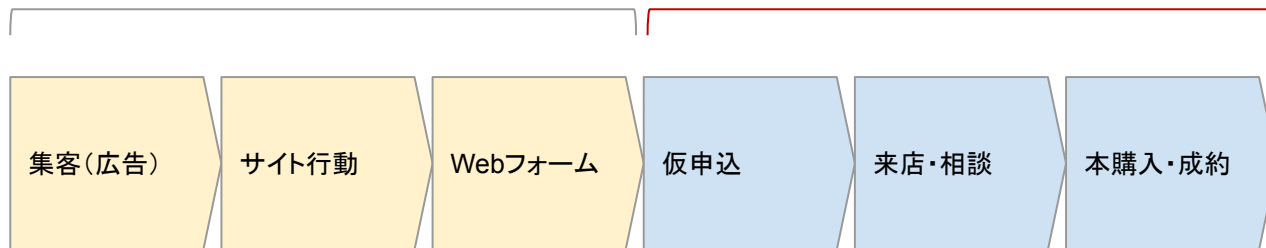
統合データ基盤の構築によりWeb上のKPIだけでは把握できなかった企業のビジネス成果の可視化/改善を推進していくことが可能となります



従来のKPIの考え方

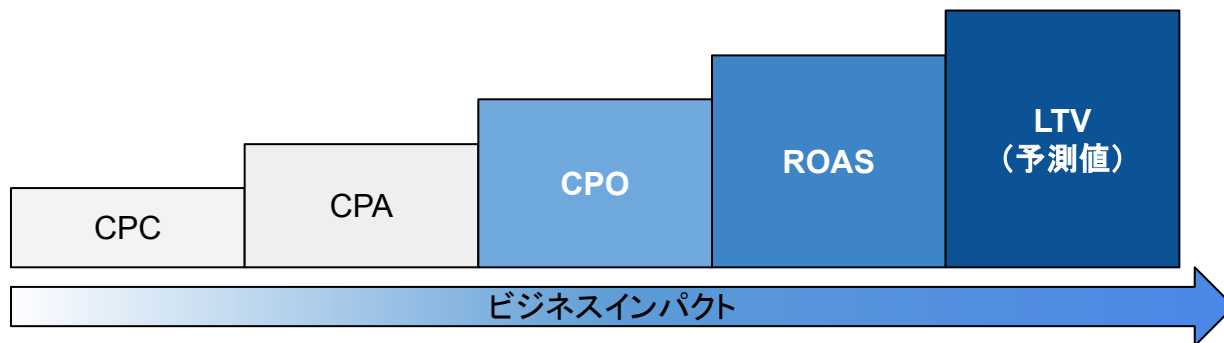
最終成果も含めたKPIの考え方

集客から最終成果までの
一貫した可視化

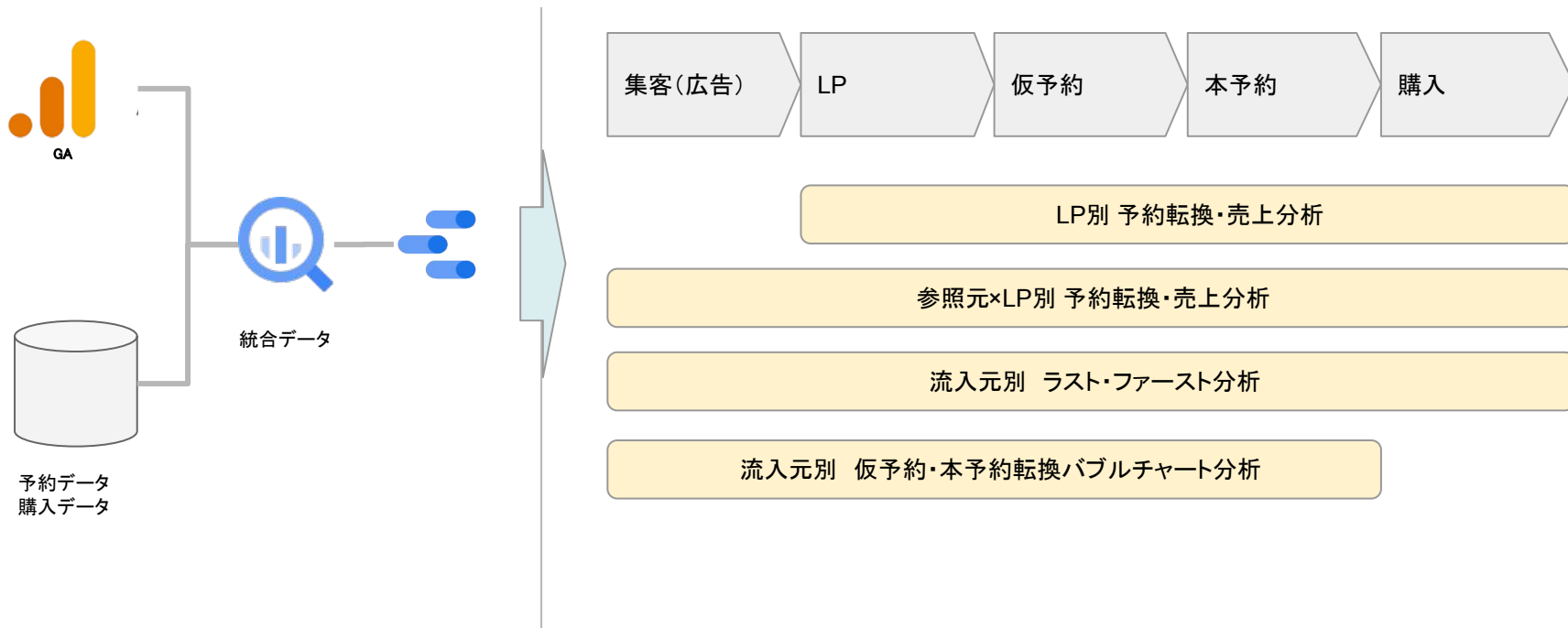


ビジネス成果に直結するバリュー値でスマート入札 (Value Based Bidding)

売上成果・LTVまでの
CVデータを含めた
入札の最適化

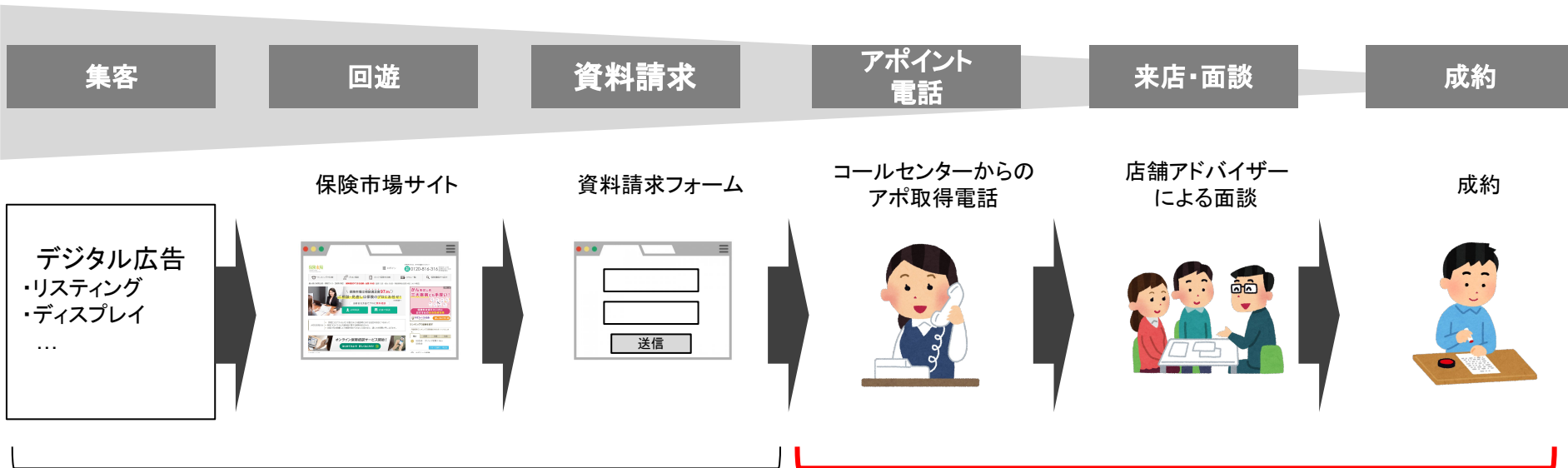


GA4とのデータ統合によりWeb上の仮予約申込から最終的な購入へKPIを転換
購入までをゴールとした集客チャネルのアトリビューション評価ができる環境を構築





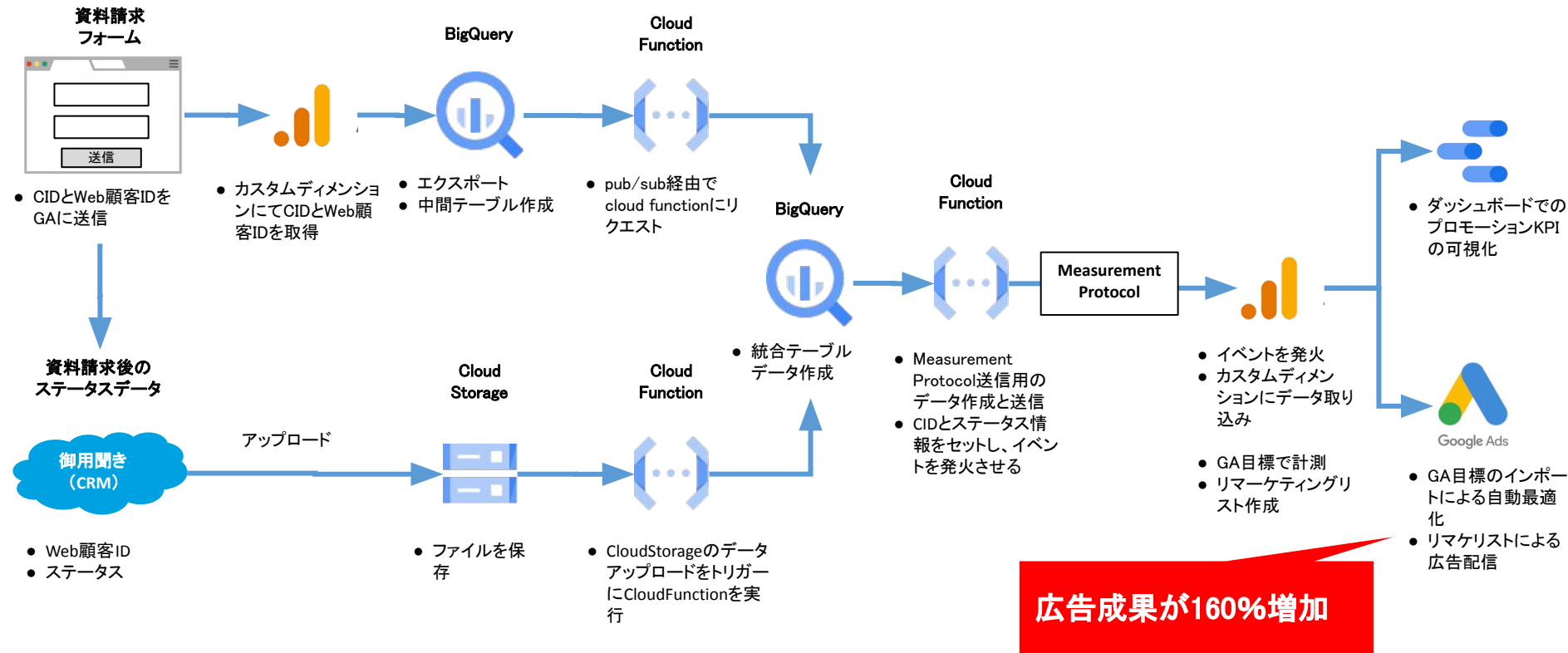
従来はWeb プロモーションの KPI をウェブ上での資料請求数としていたが、この手法では実際の「アポイント獲得」に繋がっているかを明確化できなかった



従来のKPIの考え方

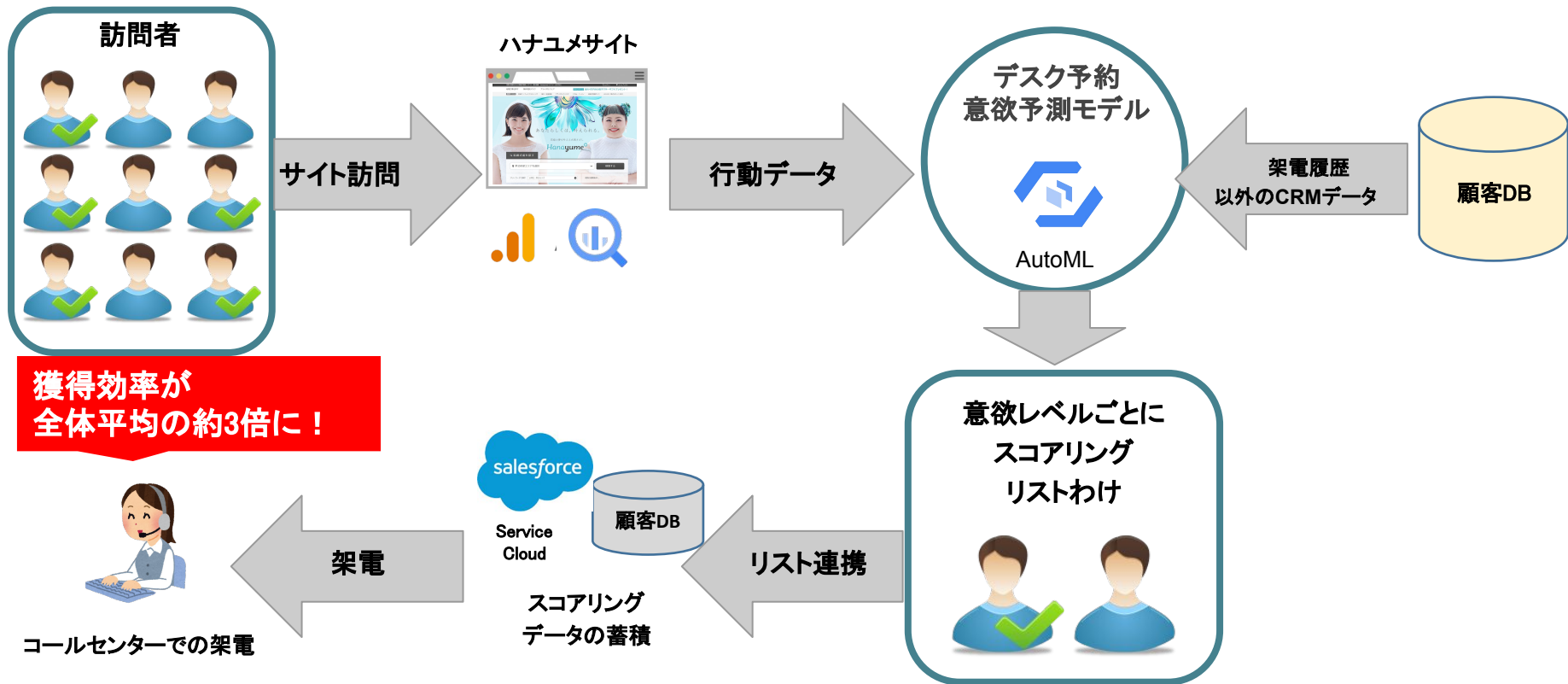
資料請求以降のステータスをCRMデータから取り込み、GAのWeb行動データと統合することで一気通貫したKPIの把握を可能に

CRMデータを取り込み、可視化と広告施策へ連携するデータパイプラインを構築 Google広告での自動最適化に活用し、同じ広告コストでの成果が**160%まで増加**





サイト行動のデータからデスク予約のしやすさをスコアリング
 機械学習モデル活用でコールセンターでの**獲得効率が平均の3倍に!**



獲得効率が
全体平均の約3倍に!



イー・エージェンシー独自パッケージプラン
「GA4 × BigQuery 統合データソリューション」
のご紹介

GA4との統合データをもとした 可視化・広告活用に向けた3つのプラン

統合データ構築 可視化プラン

<アウトプット>

- 貴社CRM・オフラインデータとGA4の統合データテーブルの構築
- Lookerスタジオでの可視化

<プロセス>

- プロジェクト進行管理
- 統合データテーブル・可視化要件定義
- テーブル設計
- 統合データテーブル開発・検証
- Lookerスタジオ構築

2～3ヶ月 / 400万円～

Value Based Bidding 環境構築プラン

<アウトプット>

- 左記のアウトプット要件
- +GA4 オフラインCVイベント送信

<プロセス>

- 左記のプロセス
- +Measurement Protocolイベント開発
- GA4 オフラインイベント設定・検証

3～4ヶ月 / 500万円～

カスタマイズ 構築プラン

<アウトプット>

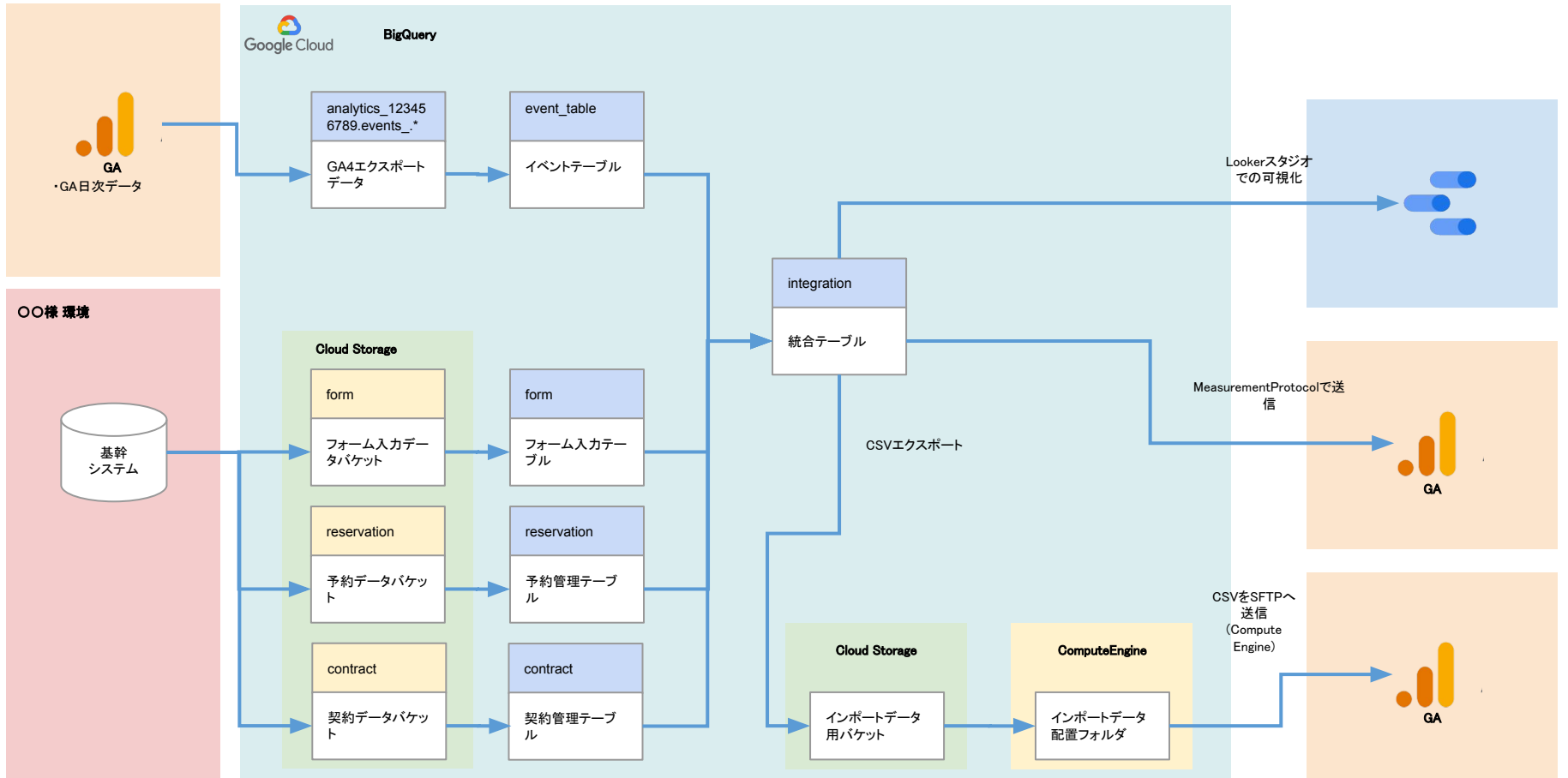
- 左記のアウトプット要件
- +機械学習などの追加開発要件

<プロセス>

- アウトプットに伴う追加プロセス

別途お見積り

※上記に加えて、システム保守運用費用、Google Cloud従量課金費用(弊社にて請求代行可能)が発生いたします



おもてなしを科学する

e-Agency

ご案内の機会を頂戴しまして、誠に有難うございました。

Googleアナリティクス360の運用・活用を通じて、成果最大化に貢献できるよう尽力してまいります。

ご検討の程、何卒宜しくお願い申し上げます。